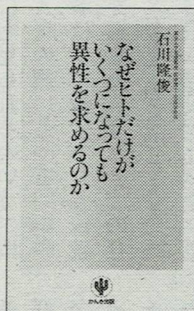


『なぜトだけいくつになっても異性を求めるのか』

石川隆俊  
かんき出版 一三〇〇円

超高齢社会に突入し、老人の性生活はどうなっているのか。東京大学で医学部長まで務めた七十代の著者が五十代から九十代の男女約八十人に聞き取り調査をした。「高齢者の高齢者による高齢者のための性生活読本」と言うべき一冊だ。

「七十八歳までは元氣すぎて困るくらいでした」（八十歳・男）、「外に女がいた主人とは、八十歳のころまでありました」（八十四歳女）、「セックスは週に一度くらいです」（七十歳・女）。聞き取り調査で明らかになるのは、性生活が高齢者にとっても不可欠だという意外な



実態である。調査を受け本書の後半では、他の動物と異なり、体の仕組みや機能的に人だけが死ぬまで現役でいられることを最新の医学情報に基づき、解説する。

日本では戦後の高度成長期の「モーレッツ」な働き方が家庭から性生活を駆逐してしまっただ。ただ、皮肉にも「失われた十年」の後の低迷でサラリーマンの働き方は転換点を迎え、ライフスタイルが見直されつつある。「死ぬまでセックス」は決して雑誌の煽り文句ではない。

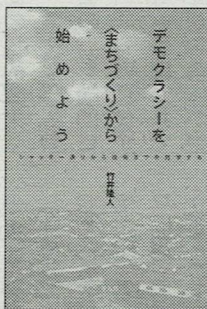
(江田晃一)

『デモクラシーを（まちづくりに）から始めよう』

竹井隆人  
平凡社 二八〇〇円

人間が集団で暮らす「まち」はいかに治められるべきか。法や政治哲学などの視点から原子力ムラや騒音おばさんといった具体例を交え、為政者や大企業に敵対するだけの「正義」もどきを小気味良く斬っていく。政府系金融機関で、まちづくりの実務に携わってきた著者ならではの説得力が全編にあふれる。

コミュニティを絶対的にいいものとする主張への批判も鋭い。人々の「緊密な関係（＝仲良し）」にすべての解決を委ねる危うさを説き、見知らぬ者同士をつなげる方策を探る。



「まち」をつくるための政治を論じた後半では、米国のタウンミーティングを例に挙げ、関係者全員が一堂に会する「直接制デモクラシー」に期待をかける。小規模の住民を単位とした意思決定に、真の「自治」への希望を見いだすのだ。分譲マンションが、格好の舞台になる。そこで人々は、自分たちの選択に伴うリスクを引き受ける「気構え」を持ち「市民」となる。実現には私たちの意識変革が必須である。観念論に終わらず、めざすべき形を示したことに意義を感じる。

(内山菜生子)

『首のたるみが気になるの』

ノーラ・エフロン著 阿川佐和子訳  
集英社 一三〇〇円

米国で百三十万部を売り上げたというエッセイ集。著者は「めぐり逢えたら」「ユー・ガット・メール」の監督・脚本を手がけたことで知られるロマンティック・コメディの名手だ。しかし、ふだんの彼女はともロマン스는苦手のようで、ずいぶんコメディ寄りの人生を歩んでいる。

小物でぐちゃぐちゃになってしまう「ハンドバッグ問題」は、交通博物館で買った二十六ドルの「単なる袋」を使うことで解決、髪の毛のブローはサロン任せ。たまにロマンスの香りがしてきたな……と思っても



「ケネディのホワイトハウスで働いた若い娘のなかで、大統領が手を出さなかったのは、どうやら私だけらしい」というオチが待っている。彼女の母が繰り返したという「すべては不都合なよ」という言葉を遵守するかのようだ。

加齢による首のシワを気にして、老いを肯定する本に対し「この人たちに首はないのか？ 首が隠れる服を探するのに苦労したことはないわけ？」と斬り捨てるくだりが堪らない。サバサバ、毒舌、ズボラ。しかし最高にチャーミングだ。

(トミヤマユキコ)

**グラビア**

伊豆大島  
台風26号の爪痕……………5  
夢のお庭を訪ねて……………149  
やなせたかしさん惜別  
ヒーローからのメッセージ……………157  
行正り香のひとりごはん生活 おてかけ編②……………158

●ドン小西のイケてるファッションチェック  
[松島みどり]……………13  
●front+ [川口春奈]……………15  
●山藤章二の似顔絵塾……………160  
●山藤章二のブラック・アングル……………162

**小説**

貫井徳郎 私に似た人……………58  
堂場瞬一 内通……………64

司馬遼太郎の街道(連載再開)  
「赤坂散歩」の世界①……………100

**対談**

林真理子 ゲストコレクション……………106  
猪瀬直樹

**コラム**

田原総一朗 ギロン堂……………43  
藤巻健史 虎穴に入らずんばフジマキに聞け……………46  
室井佑月 しがみつく女……………47  
堀江貴文 ホリエモンのシャバ日記……………48  
池谷裕二 バテカトルの万脳薬……………49  
池田清彦 池田教授の机上の放論……………50  
森田真生 たとえば、こんな風に……………51  
古田新太 気になちよるモノ……………57  
北原みのり ニッポン スッポンポン……………63  
弘兼憲史 ハハは牛乳屋……………111  
小倉千加子 お代は見てのお帰りに……………113  
嵐山光三郎 コンセント抜いたか……………114  
東海林さだお あれも食いたい これも食いたい……………116  
北尾トロ 男と女 恋の法廷式……………118  
丸山茂樹 マルちゃんのぎりぎりフェアウエー……………122

not for sale.のウラナイ×ウラナイ……………76

稲盛和夫 これが私の生きてきた道⑩……………44

短期集中連載③  
復活 野村克也の目……………120

死者・行方不明者約50人 現地徹底ルポ 伊豆大島大災害

# 深夜の土石流 紙一重の生死

瓦礫の中、双子の兄を捜す弟 / 母を失った息子「真っ黒な湖ができた」  
90歳、守れなかった孫との約束 / ホテルで「エアコン室外機に助けられた」

中高年を蝕む「ネット依存」……………30

「未婚のプロ」が説く 私たちが結婚しないわけ……………33

死後のトラブル回避 チェックリスト付き  
遺言 葬式 遺品 遺影 親が死ぬ前に家族に伝えてほしいこと……………36

こんな「咳」と「息切れ」が危ない!……………40

「ペコロスの母に会いに行く」映画化「記憶は愛」でも「忘れていい」……………126

山田雅人 スポーツ選手、名場面を一人舞台上で再現……………128

作家 柚木麻子の秋のドラマ`裁き`……………130

細川護国首相が本誌に`共闘宣言`

## 小泉純一郎の脱原発で政界再編

自民党内で警戒される進次郎の孤独と暴発……………135

渡辺喜美みんなの党代表 激白60分 小泉元首相、安倍首相との関係……………136

誌上座談会「大物投資家」5人

## 匿名だから明かせる「私が買った株」42銘柄

追悼 やなせたかしさん……………138

発掘 46年前の本誌「百万円懸賞マンガ」受賞作……………142

**ワイド特集**

本誌報道で欧州産放射能汚染ジャム業者に5千個回収命令  
ドラフト直前、桐光・松井裕樹「低評価」情報が流れるワケ  
小林幸子「デビュー 50周年の新機軸、ジャズだって歌います」  
「そして父になる」がアカデミー賞候補になれない意外な理由  
福岡市が職員のサイト閲覧制限 市長批判を見られたくない?

「特区」な人々……………144

出会い、結婚、出産、そして苦悩

# プリンセスの葛藤 雅子妃とダイアナ妃

ダイアナ元妃のノーベル平和賞も可能だったボランティア活動 渡邊みどり……………29

週刊図書館……………91

書評 「戸越銀座でつかまえて」鴻巣友季子  
「若者」とは誰か アイデンティティの30年 長山靖生  
書いたひと [高木 裕] / 話題の新作 / 今週の名言奇言 [斎藤美奈子] / ベストセラール解説 [永江 朗] / 新書の小径 [青木るえか] / crossover舞台 [黒田陽彦] / 最後の読書 [東 直子] / マガジンの虎 [亀和 田武]

週刊朝日の目次が語る昭和②……………99

「ペコロスの母の玉手箱」②  
岡野雄……………124

新・名医の最新治療  
アルツハイマー型認知症……………73

「目キキ」と「耳キキ」……………52  
●KEY PERSON [富田ラボ] ●PICK UP ●CINEMA PREVIEW [42 世界を変えた男] ●W/UP 噂の先取り ●ツウの一見 [ある愛へ続く旅] ●MUSIC 渡辺祐のミュージック・サプリメント

ワイド「ハハはなんだかわからない」 山科けいすけ……………56  
犬はか猫はかベツはか……………72  
ハズル DE 脳力測定……………89  
お便りクラブ / 編集長後記……………148

週刊朝日の  
ニュースが読める! dot. 朝日新聞出版 新サイト「dot.(ドット)」  
http://dot.asahi.com

啓業

白松がモナカ  
白松がヨ-カン

白松がモナカ本舗

仙台工場 札幌工場  
本社 / 仙台市青葉区大町二丁目8番23号  
☎0120-008940  
http://www.monaka.jp